



東北大学

平成 27 年 3 月 6 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

防災教育交流国際フォーラム
「レジリエントな社会構築と防災教育・地域防災力の向上を目指して」
開催のご案内

東北大学災害科学国際研究所では、第3回国連防災世界会議のパブリックフォーラムとして、内閣府（防災担当）、文部科学省、防災教育普及協会等とともに、防災教育交流国際フォーラム「レジリエントな社会構築と防災教育・地域防災力の向上を目指して」を下記のとおり開催いたします。

本フォーラムでは、大災害の教訓を踏まえ発展した日本の防災教育の20年を振り返り、東日本大震災や世界の大震災被災地における学校防災の取り組み事例を紹介いたします。また、ポストHFA（兵庫行動枠組）における防災教育・地域防災の向上に向けた今後の取り組みの方向性を「仙台宣言」として採択する予定です。

つきましては、ご多用のところとは存じますが、ご参集・ご取材の上、紙面・テレビ等で幅広くご周知くださいますようお願い申し上げます。なお、取材をご希望の報道機関の方は、FAX用紙に必要事項をご記入の上、3月12日（木）までに申し込みください。

記

1. 日 時： 平成 27 年 3 月 14 日（土）9:30～16:50（受付 9:00 から）
（終了後 17:00 より、マルチメディア研究棟 1 階ロビーにて今村所長による記者対応あり）
2. 場 所： 東北大学マルチメディアホール（川内北キャンパス）※添付チラシ参照

災害科学国際研究所では、関係機関との連携に基づいて防災教育分野での国内外のネットワーク構築、学際研究、人材育成を推進するため、3月1日付けで防災教育国際協働センターを設置いたしました。同センターは、本フォーラムで採択される予定の「仙台宣言」をフォローアップし、ポストHFAの枠組みのもと防災教育に関する国内外のネットワークのハブ機能を有し、レジリエントな社会の構築に「教育」の側面から貢献することを目指します。

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所 災害復興実践学分野 准教授 桜井愛子（さくらい あいこ）

TEL：022-752-2104 FAX：022-752-2105 E-mail:sakurai@irides.tohoku.ac.jp

フォーラム紹介 HP（東北大学 HP 内）：<http://drr.tohoku.ac.jp/archives/427>

東北大学災害科学国際研究所 災害復興実践学分野（防災教育国際協働センター） 行き
FAX 番号：022-752-2105

ご出席にあたっては、チェックボックスおよびご連絡先をご記入の上、FAX にて、
3月12日（木）までにご返信ください。

第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム
防災教育交流国際フォーラム取材申し込み票

日 時： 2015年3月14日（土）9：30～

会 場： 東北大学マルチメディアホール（川内北キャンパスマルチメディア研究棟2階）
〒980-8576 仙台市青葉区川内41

9:30～16:50 防災教育交流国際フォーラム

17:00～17:15 災害科学国際研究所 今村文彦所長 取材対応
（東北大学川内北キャンパス マルチメディア研究棟1階ロビー）

（フォーラムは日英同時通訳付きで行われます。通訳機器の貸出のため、複数人数でのご参加の場合、人数もご明記いただければ幸いです）

御社名： _____

ご所属： _____

ご芳名： _____

媒体名： _____

ご連絡先： _____

電話： _____

Email： _____

防災教育交流国際フォーラム レジリエントな社会構築と防災教育・ 地域防災力の向上を目指して

Development of a Resilient Community and Improving Disaster Education and Regional Disaster Preparedness

言語: 日本語・英語(同時通訳)

日時 2015年3月14日(土)
9:30~16:50(開場9:00)

会場 東北大学川内北キャンパス
マルチメディア教育研究棟 2F
マルチメディアホール

本フォーラムでは、東日本大震災やインド洋大津波、四川大地震など、国内・海外の大震災の被災地から世界に向けてその経験や教訓を発信します。また、日本全国で取り組まれる防災教育・地域防災の優秀事例を紹介します。そして、防災教育を通じた災害に強い地域づくりに向けた今後10年の取組みを示す「仙台宣言」を採択する予定です。会場では、日本や世界の学校などで実際に使用される防災教育教材などの展示も行います。

ACCESS



仙台市営バス: 仙台駅前16番のりば「広瀬通経由交通公園・川内(営)行」「広瀬通経由交通公園循環」乗車 バス停「川内郵便局前」下車(15分)

主催 東北大学災害科学国際研究所 防災教育普及協会
国連防災世界会議防災教育日本連絡会 内閣府(防災担当) 文部科学省

後援 岩手県教育委員会 宮城県教育委員会 福島県教育委員会 仙台市教育委員会
全国学校安全教育研究会 東京都学校安全教育研究会 日本安全教育学会

PROGRAM (暫定)

9:30 **開会挨拶** 渡邊正樹 防災教育普及協会副会長、東京学芸大学教授

招待講演



「大震災の経験を踏まえた日本の防災教育発展の20年」

戸田芳雄
学校安全教育研究所代表、東京女子体育大学教授

9:55 **第一部 東日本大震災の被災地から学ぶ**

挨拶 大路正浩 文部科学省スポーツ青少年局学校健康教育課長

東日本大震災の被害実態と教育復興

佐藤 健 東北大学災害科学国際研究所教授

東日本大震災被災地における教育復興と防災教育の取組み

宮城県教育委員会、岩手県教育委員会、福島県教育委員会、仙台市教育委員会

東日本大震災被災地における復興・防災教育の実践事例

石巻復興教育プログラム、減災結プロジェクト、カケアガレ!日本

展示紹介

減災アクションカードゲーム、彦根工業高校(滋賀県)、アトリエ太陽の子(兵庫県)、全国教育委員会、他

12:00 昼食・休憩(展示コーナー見学、参加者交流)

13:00 **第二部 世界、日本各地の防災教育の実践から学ぶ**

挨拶 名波義昭 内閣府政策統括室(防災担当)付参事官

1. 世界の大震災被災地における取組みから

2004年インド洋大津波被災地インドネシア国バンダアチェ州の防災教育

サムスル・リザール シャークアラ大学学長
 ハイレル・ムナディ シャークアラ大学津波災害軽減研究センター所長
 ムハマド・ディルハムシャー シャークアラ大学大学院災害科学プログラム長

2008年四川大地震と中国の学校安全

顧 林生 四川大学-香港理工大学災害復興管理学院執行院院長、教授
 コメンテーター ミーヨン・チョイ 国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)、ジャカルタオフィス教育専門部長

2. 防災教育 優秀実践事例から

シェイクアウト訓練

マーク・ベンセン 南カリフォルニア地震センター 局長、神奈川県座間市

日本各地から

仙台市南吉成中学校(宮城県)、気仙沼市階上中学校(宮城県)、盛岡市あそびま・senka(岩手県)
 田辺市立新庄中学校(和歌山県)、東金特別支援学校(千葉県)、やさしい日本語(京都府)

「地域における防災教育の実践に関する手引き」紹介

林 春男 防災教育チャレンジプラン実行委員長、京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授

15:55 **第三部 仙台宣言とパネル討議**

コーディネーター 矢崎良明 全国学校安全教育研究会顧問、鎌倉女子大学講師
 パネリスト 今村文彦 東北大学災害科学国際研究所所長、教授 林 春男 防災教育チャレンジプラン実行委員長
 平田 直 防災教育普及協会会長、東京大学教授 藤岡達也 仙台宣言起草委員副委員長、滋賀大学教授
 渡邊正樹 日本安全教育学会会長 他

16:40 **仙台宣言採択・閉会挨拶**



今村文彦 東北大学災害科学国際研究所所長、教授、国連防災世界会議防災教育日本連絡会会長

16:50 **展示コーナー見学(於1階ラウンジコーナー)**

18:00 **防災教育交流会(懇親会)(於川内北キャンパス キッチンテラス・クルール)** ※別途お申込みが必要です。

フォーラム・懇親会のお申し込みはこちらから → <http://www.bousai-edu.jp/jde-liaison-network/contact.html>



(締め切り: 2015年2月28日)

お問い合わせ先 東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野
 Tel. 022-752-2104 Fax 022-752-2105 Email: drdm1@irides.tohoku.ac.jp (担当 桜井)
 一般社団法人 防災教育普及協会(公益財団法人 日本法学会内)
 Tel. 03-6822-9901 Fax 03-3556-8217 E-mail: edinfo2014@bousai-edu.jp (担当 宮崎)